

第3回 検討準備会での意見

- 1 水理模型実験の基礎数値、台風の際の流量、流速などを明らかにして欲しい
- 2 御影橋下の浚渫工事について表面だけ掘っているが土砂をどの位取るのか
- 3 御影橋に向かう市道の嵩上げ部について東側から見た図面で説明して欲しい
- 4 百々川の改修について説明がほしい
- 5 遊水地を支川毎に分散して造ることはできないか

1.水理模型実験の基礎数値などについて

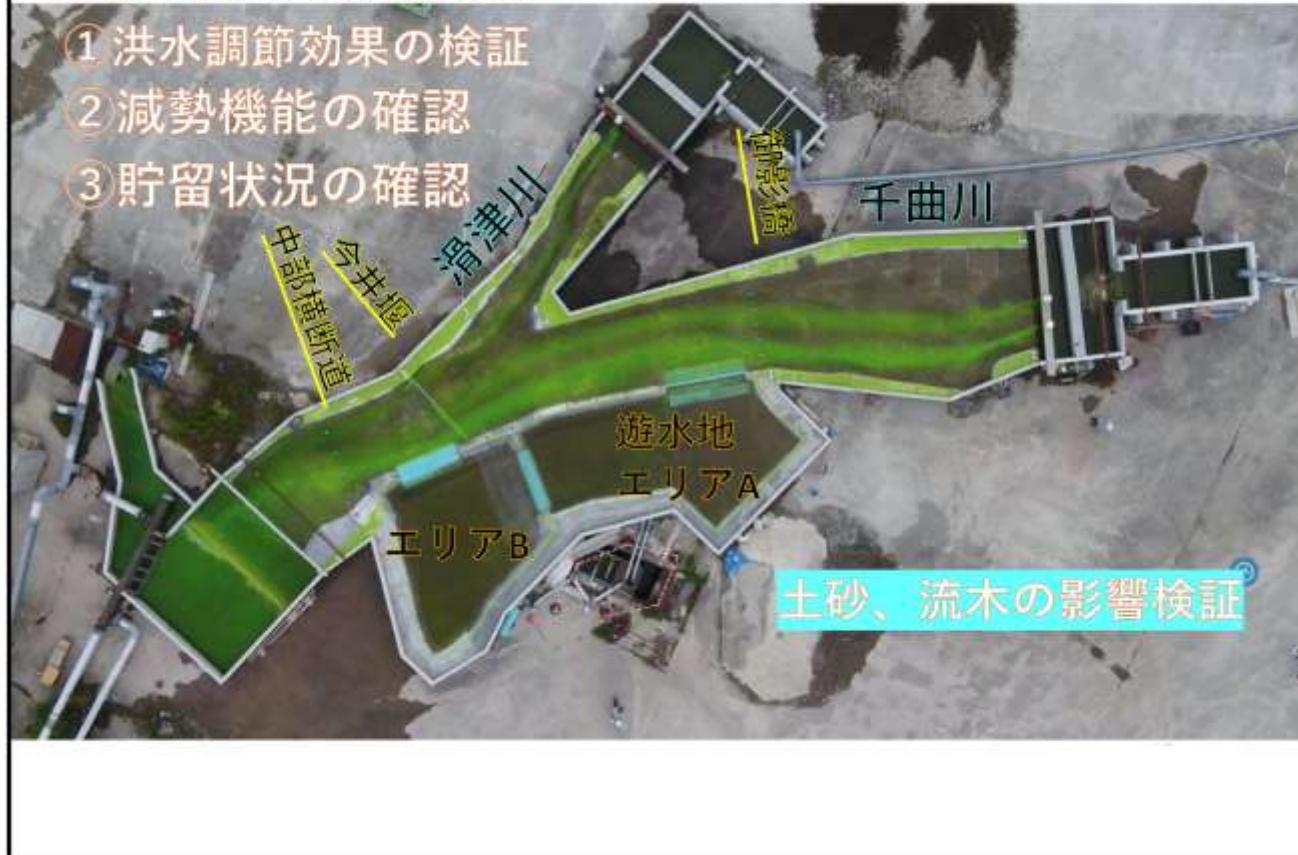


桜井地区遊水地における模型縮率

	項目	縮率	現地概略諸元	模型諸元
				1/60
千曲川	河道幅 (m)	1/60	300	5.0
	流量 (m ³ /s)	1/60 ^{5/2}	2600	0.093
	流速 (m/s)	1/60 ^{1/2}	4.0	0.52
	水深 (m)	1/60	5.0	0.083
	河川長 (m)	1/60	2000	33.3
	粗度係数	1/60 ^{1/6}	0.045	0.023
	河床勾配	1/1	1/150	1/150
桜井遊水地	越流量 (m ³ /s)	1/60 ^{5/2}	129.2	0.0046
	越流堤長 (m)	1/60	180	3.0
	越流水深 (m)	1/60	0.71	0.012
	越流係数	1/1	1.2	1.2
	時間 (h)	1/60 ^{1/2}	4.0	0.52

水理模型実験の目的

- ① 洪水調節効果の検証
- ② 減勢機能の確認
- ③ 貯留状況の確認

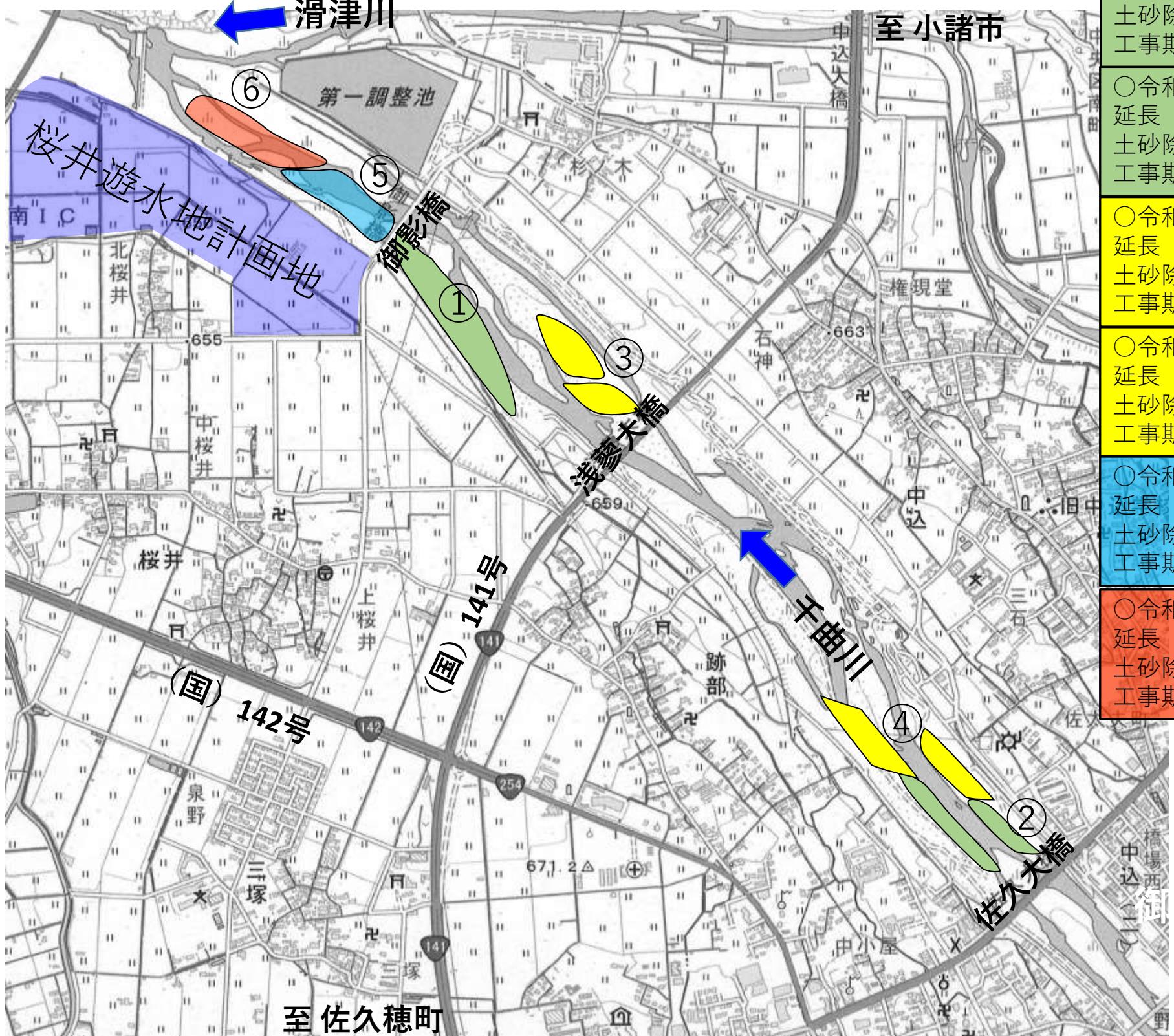
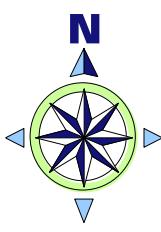


水理模型実験の様子



2.御影橋下の浚渫工事について

千曲川堆積土砂除去（実施中）



○令和2年度 延長 450m 土砂除去 35,700m ³ 工事期間 R3.5月～R4.3月	①
○令和2年度 延長 340m 土砂除去 25,500m ³ 工事期間 R3.5月～R4.2月	②
○令和3年度 延長 330m 土砂除去 15,800m ³ 工事期間 R4.5月～R5.2月	③
○令和3年度 延長 620m 土砂除去 22,800m ³ 工事期間 R4.5月～R5.2月	④
○令和4年度(繰越実施中) 延長 400m 土砂除去 14,200m ³ 工事期間 R5.3月～R6.1月	⑤
○令和5年度(今後施工) 延長 300m 土砂除去 16,000m ³ 工事期間 R5.12月～R6.5月(予定)	⑥

2.御影橋下の浚渫工事について

千曲川堆積土砂除去（実施中）

○令和4年度(繰越実施中)
 延長 400m
 土砂除去 14,200m³
 工事期間 R5.3月～R6.1月

5

○令和5年度(今後施工)
 延長 300m
 土砂除去 16,000m³
 工事期間 R5.12月～R6.5月(予定)

6

施工中



着手前

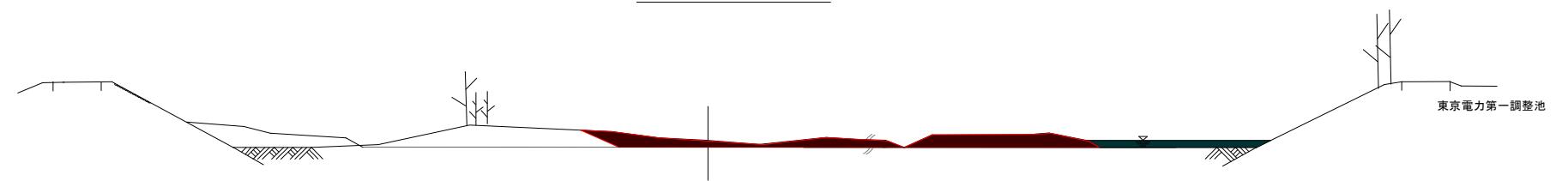


着手前



標準断面図

S=Free



3. 千曲川の氾濫について(堤防(周囲堤)と市道兼用、道路嵩上げ)

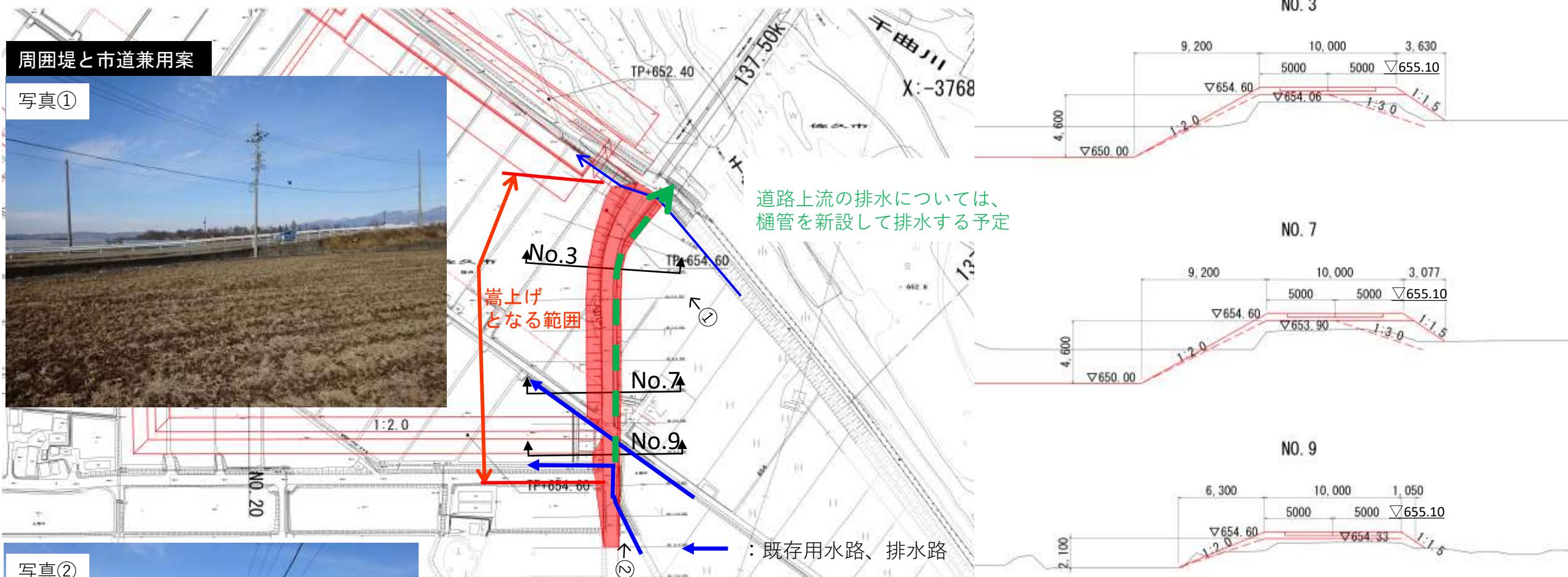
- 御影橋に接続する市道と遊水地の堤防(周囲堤)と兼用すると、市道が周囲堤の高さまで高くなり、御影橋上流の千曲川左岸で堤防が仮に決壊した場合でも、北桜井集落には洪水が回り込まず、家屋の浸水被害が軽減されることから、市道と遊水地の堤防を一体化する計画としました。
- そのため、現在、市道を横断し、下流へ延びる用排水路については、市道嵩上げ後、上流側(下図、緑破線)に新たに設置する排水路に合流させ、千曲川に排水する計画としました。

周囲堤と市道兼用案

写真①

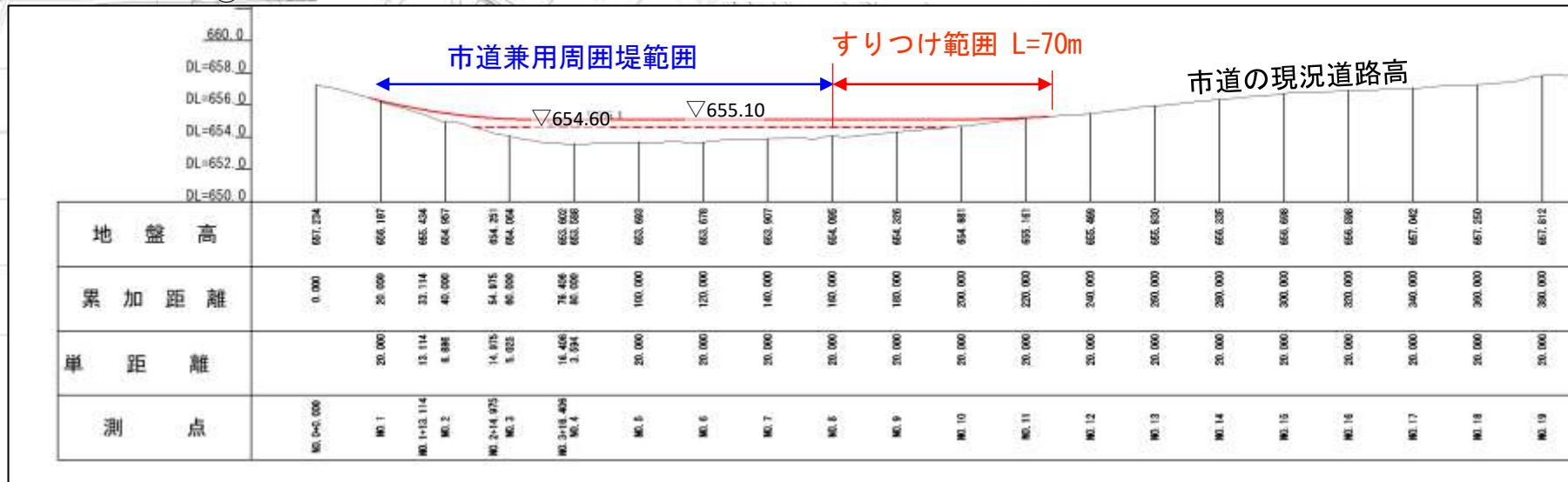
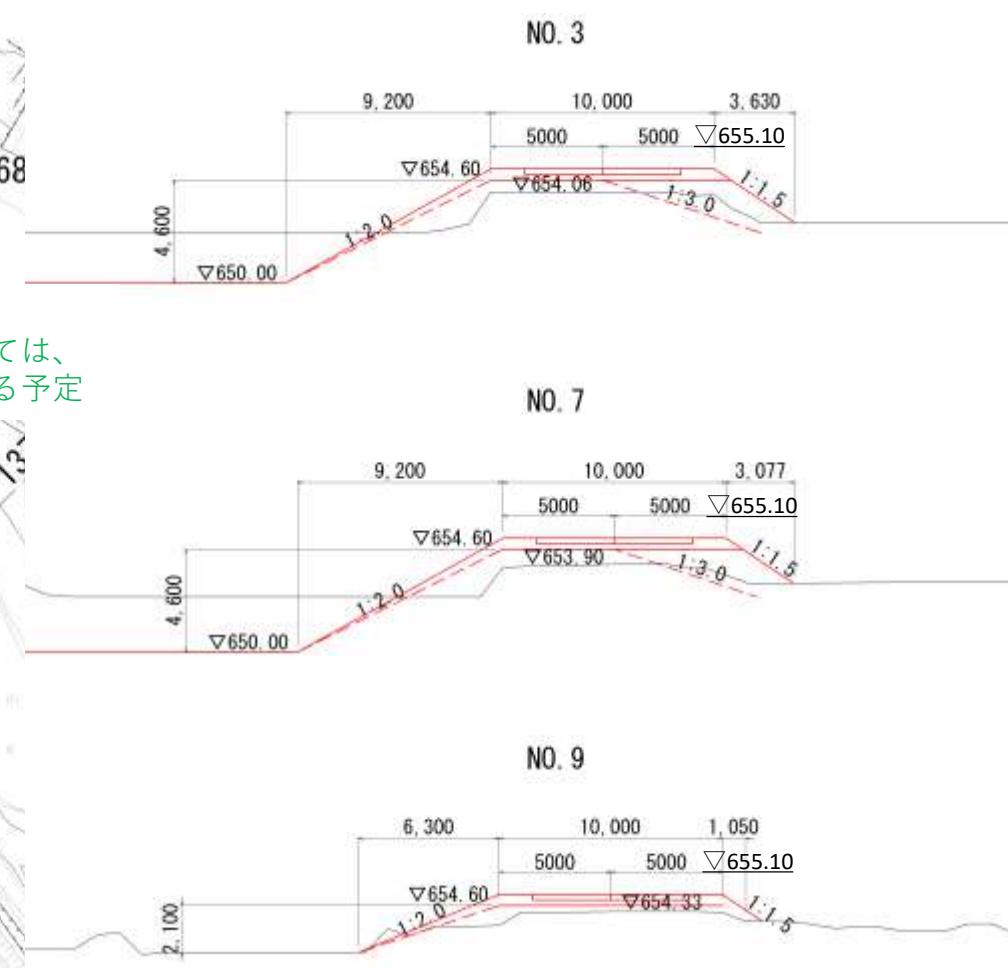


写真②



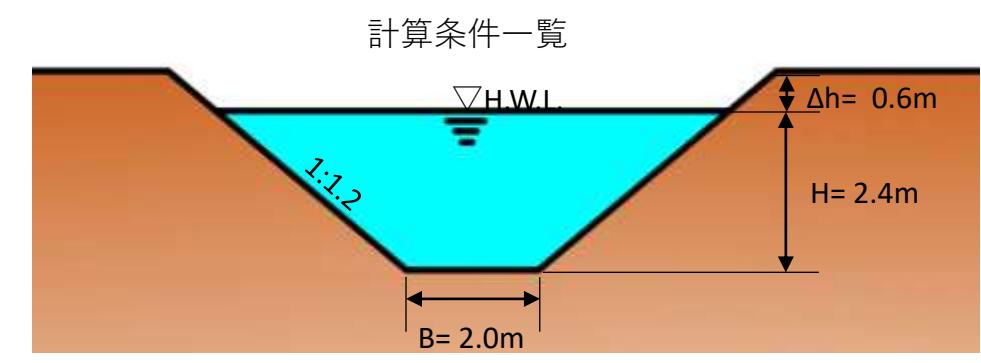
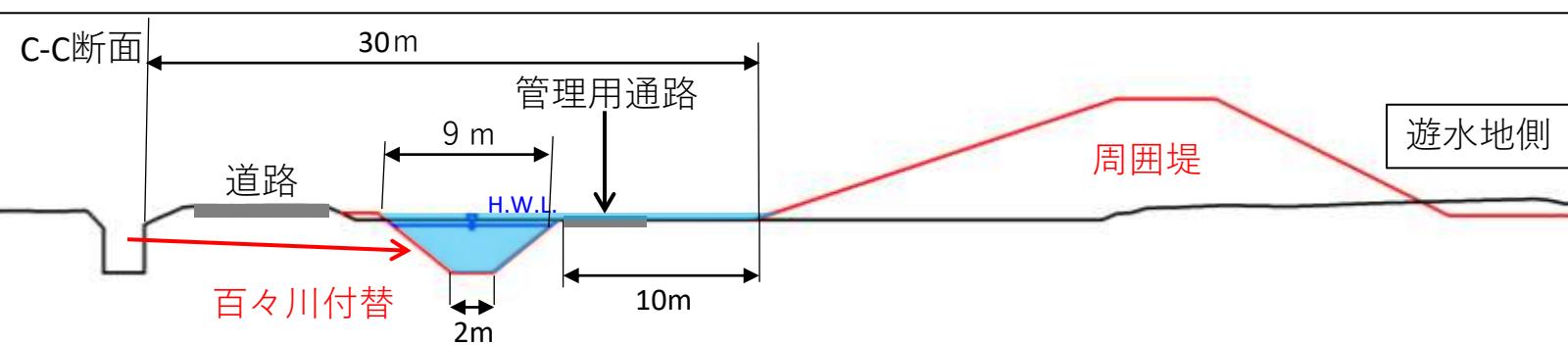
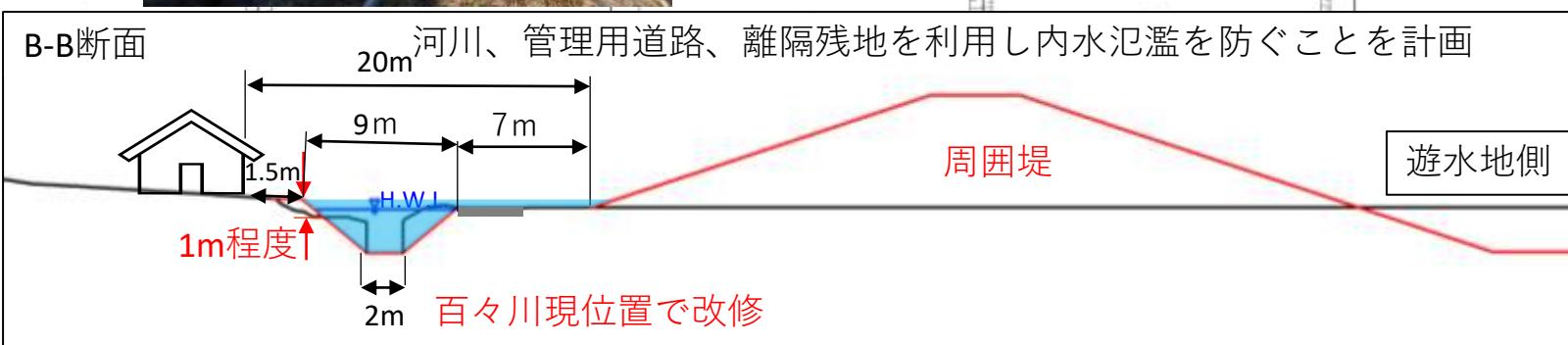
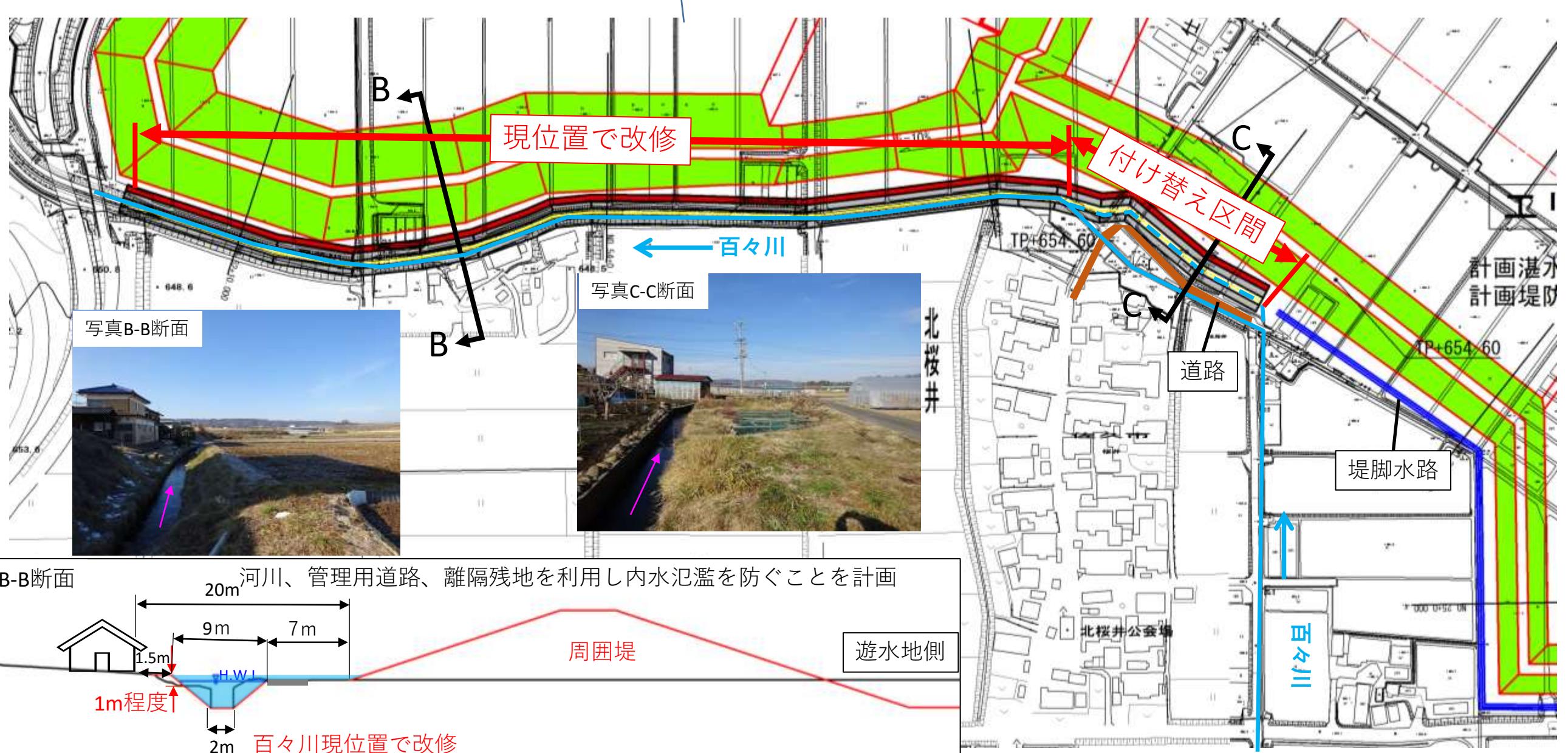
道路上流の排水については、樋管を新設して排水する予定

：既存用水路、排水路



4. 百々川の改修について

- 新たな百々川の断面は、河床幅2m、余裕高0.6mとし、現在、洪水を流す断面が不足している箇所を整備します。
- 百々川の改修に併せ、河川を管理するための道路を整備するとともに、万が一、川から洪水が溢れた場合であっても、遊水地側に洪水が流れる計画とします。

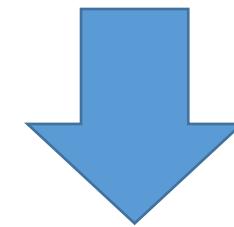


5 遊水地の設置位置(支川設置との比較)



[遊水地の設置位置]

支川それぞれに設置した場合、効果の発現には約1.2倍の貯留量が必要となり経済的に不利



改良区間との千曲川合流部より下流域のうち、事業効果を高めるため、最下流の滑津川合流点に可能な限り近い地点として滑津川合流地点付近の左岸側に遊水地を設定

遊水地整備に伴う桜井地区治水まちづくり検討準備会 設置要綱

(設置)

第1条 桜井地区に計画している遊水地整備に係る治水まちづくり検討協議会を設置するまでの諸課題を整理するため、遊水地整備に伴う桜井地区治水まちづくり検討準備会（以下「準備会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 準備会は、次の各号に掲げる事項について協議するものとする。

(1) 遊水地計画に関すること

(2) 前各号に掲げるもののほか、準備会の任務を達成するために必要なこと



準備会にて整理された主な案件

1 計画に関すること

- ・基本諸元について（設置位置、河床勾配等）
- ・御影橋左岸付近の内水被害への懸念について
- ・湛水時、水位による圧迫感について
- ・北桜井地区を縦断する用水の内水被害への懸念について（遊水地へ放流）
- ・百々川改修について
- ・田んぼダムについて
- ・防災（学習）・避難施設について

2 維持管理に関すること

- ・千曲川本川の浚渫、立木伐採について
- ・遊水地内の維持管理について

3 用地に関すること

- ・用地買収について
- ・営農補償について